

は じ め に

昨今の社会状況の変化に伴い、福祉ニーズが多様化・複雑化しており、地域で支え合うまちづくりを推進するとともに、行政や関係機関、地域福祉計画の関係者等がそれぞれの分野を超えて連携することがますます重要となっています。

本市においても、少子化が進む一方で、保育士不足に伴う待機児童の発生や子育てニーズの多様化のほか、貧困家庭やひとり親家庭をはじめとした様々な課題がございます。これらの課題に対応し、すべてのこども・若者と子育てを行う保護者にとって暮らしやすく、生きる喜びを実感できるまちの実現を目指し、令和6年度からは、児童福祉及び母子保健分野が一体となって市民を支援出来るよう「こども家庭センター」を設置しております。さらに、令和7年度には「こども部」を設置し、こどもに関する事業を一体的に推進出来る体制づくりに努めて参ります。

また、令和5年度に策定しました「第9期宜野湾市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」をもとに、高齢者の尊厳と自立した生活を支援し可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを営めるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を進めると同時に、「チュイシージーの心で創る 人と人が繋がるやさしい都市（まち）ぎのわん」の実現のため、引き続き各関係機関と連携し、各施策へ取り組んでまいります。

本冊子は本市における過去5年間の福祉・保健の事業概要をまとめたものです。多くの方々にご活用いただき、本市の福祉保健行政についてご理解とご協力をいただくための一助となれば幸いです。

令和7年9月

宜野湾市福祉推進部	部 長	島袋 喜美恵
宜野湾市こども部	部 長	伊佐 真
宜野湾市健康推進部	部 長	宮城 葉子